

追悼のピアノトリオコンサート

～百瀬 喬先生・土濃塚 仁昭先生
を偲んで～

2022年11月26日(土) 代官山教会 チャーチホール

プログラム

- A. アレンスキー：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品32
S. ラフマニノフ：ピアノ三重奏曲 第1番 ト短調 悲しみの三重奏曲
ヴォカリーズ ピアノ三重奏版 (J. コニユス編)
J. S. バッハ：G線上のアリア (FCミュージック編)
R. シューマン：歌曲集ミルテの花 作品25より 献呈 (石澤直子編)
L.V. ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 作品125 合唱付「歓喜によせて」
第4楽章 (平林明子編)

ほか

※曲目が変更になる場合がございます



石澤直子～ピアノ～



椿太陽～ヴァイオリン～



大岩直季～チェロ～

2022年11月26日(土) 代官山教会 チャーチホール

15:00開演 (14:30開場) チケット3000円(全席自由・税込)

【主催・お問合せ・お申込み】 カノールミュージカ 042-430-2748 canoromusica@gmail.com

【プレイガイド】 カンフェティ <http://confetti-web.com> 0120-240-540

【後援・協賛】 日本アレンスキー協会/国際ピアノデュオ協会/日本・ロシア音楽家協会/カローザ

追悼のピアノトリオコンサート ～百瀬 喬先生・土濃塚 仁昭先生を偲んで～

音楽家、芸術家であった百瀬 喬先生、土濃塚 仁昭先生へ追悼の意を込め、この演奏会において旧友のお二人との告別の時間を設けたいと思います。

音楽史において、偉大な音楽家の故人への追悼曲として書かれることが慣例化していたピアノ三重奏曲。今回はアレンスキーとラフマニノフが追悼の想いをこめて作曲したピアノ三重奏曲第1番を選曲。その他に、百瀬先生、土濃塚先生の愛したバッハ、ベートーヴェン、シューマンの名曲を選曲しました。

百瀬先生、土濃塚先生は音楽、芸術、自然、ベートーヴェンを深く愛した先生でした。「音楽家であるならば、空と自然に目を向けなさい」、「高く、深く、広くピアノの世界を」と静かにご指示くださいました事、お二人の先生の金言を胸に刻み演奏したいと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

プロフィール

石澤 直子 ピアノ
Naoko Ishizawa, Piano



東京都出身。日本大学芸術学部音楽学科ピアノコース卒業。読売新聞社主催第68回読売新人演奏会出演。第8回「万里の長城杯」国際音楽コンクール優秀賞受賞。第5回全日本芸術コンクールピアノ部門奨励賞受賞。2001, 02, 04年、ウィーン国際音楽セミナーマスタークラス修了。04, 09年、ロシア大使館にて「日露友好の会」コンサート出演。その他、東京芸術劇場、ベーゼンドルファーホール(ウィーン)、マトリーチェ教会(イタリア)などで、多数出演し演奏活動を広げている。16, 18年「石澤直子ピアノ講座シリーズ」公演では、独創的で多彩な企画を展開し、インタビュー記事が音楽現代(18年5月号)に掲載、ムジカノーヴァ(18年8月号)演奏会批評で好評を得た。21年、研究論文「ロシア音楽史におけるピアノ三重奏作品研究～深い悲哀から衝き動かされる音楽作品～」を発表。

椿 太陽 ヴァイオリン
Taiyo Tubaki, Violin



2歳よりヴァイオリンを始める。第17回高文連ソロ・コンテストにおいて最優秀音楽賞(全4部門総合1位)受賞。第10回「万里の長城杯」国際音楽コンクール第1位。併せて、中国駐大阪総領事賞受賞。特待生で昭和音楽大学器楽学科演奏家コース卒業。活発な演奏活動を行いながら、後進の指導にもあたり、数多くのコンクールに審査員として招聘されている。ファイナルファンタジーレコードキーパーのサントラ収録、アイドルグループ Candy Boy のサポートメンバーなど、近年はクラシックにとどまらず幅広いジャンルで活躍。作曲家としても活動し、自身が作曲・演奏したCDがリリースされる。これまでに、ヴァイオリンを河村百合子、小林美恵、ジェラルド・プーレの各氏に、ピアノを花田直美、金子勝子、上野裕規子の各氏に師事。

大岩 直季 チェロ
Naoki Oiwa, Violoncello



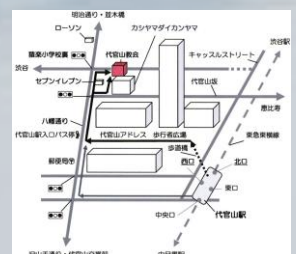
東京音楽大学器楽科卒業。仙台出身。フリーランスのチェリスト。ソロ活動の他、三重奏、四重奏を中心とした室内楽や、国内外のオーケストラ、オペラの客演首席奏者などの活動を、東京を中心として日本各地で展開中。また、邦人アーティストのサポートメンバーとして演奏。ミュージカル出演、スタジオ録音、ドラマ出演、映画出演など、幅広く演奏活動を行っている。これまでに、チェロを石井忠彦、間瀬利雄、金木博幸、勝田聡一、ユリウス・ベルガーの各氏に師事。ルロットオーケストラメンバー。東京室内管弦楽団員。ピアノカルテット「TETRA UNISON」メンバー。コニカミノルタプラネタリア TOKYO 「LIVE in the DARK -CLASSIC-」に、カルテット『あめのした』として出演中。



音楽雑誌「ムジカノーヴァ」4月号 演奏会批評より

ラフマニノフのピアノ三重奏曲第一番「悲しみの三重奏曲」とアレンスキーの同第一番は、師弟関係にある二人の作品の相違点、類似点それぞれを明らかにした興味深い演奏であった。ピアノの石澤直子はアレンスキーの憂いを帯びた旋律やパッションをよく表現、チェロの大岩直季は雄大な旋律をたっぷり歌い、ヴァイオリンの椿太陽が光明を射すような美しい音色で印象的であった。アレンスキーの「天国の音楽」の部分はとても美しく、百瀬喬氏がきっと微笑んで聴き入っていたことであろう。

2021年11月23日 音降りそそぐ武蔵ホール
野平多美氏批評



アクセス

代官山教会 チャーチホール
東急東横線 代官山駅 徒歩5分

〒150-0034 東京都渋谷区代官山町 14-3
TEL: 03-6455-3977